Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2021	2021 開講キャンパス 宮崎キャンパス				開設学科 健康栄養学部 (食品開発)			
科目名称 [英語名称]	物理学Ⅱ [Phys	sics II]			実務教員			アクティブラーニング	
科目コード	130800	授業形態	講義	単位数		2	配当等		1年次
教員氏名	山内 誠				学位持	受与の方針 の関連			
授業概要	物理学IIでは、前期の「物理学 I 」に続くものとして、物理学の基本分野の一つである波の現象について、音や光を中心に日常的な現象を物理法則を基に理解することを目指す。特に、日常的に体感するドップラー効果や光の全反射、偏光、鏡やレンズによる光線の操作については、その利用例についても紹介し、身近なものとして感じてもらう。この講義を通して、音や光も海で見られる波と同じ性質を持つことと、波だからこそ現れる現象について理解を深めてください。								
関連する科目	本講義の履修前に「物理学 I 」を受講しておくことが望ましい。								
授業の進め方と方法	ほぼすべての受講生が、高校で数学や物理学を深く学んできていないということを前提に授業を実施します。そのために毎回、予習レポートを課しますのでしっかりと予習して講義に臨んでください。授業はオンライン講義形式ですが、可能な範囲で教卓実験を行います。このように目からの情報を経験としてもらうことで記憶に残るようにします。								
授業計画	第1回 波の性質1: 縦波と横波 媒質の振動上波の種類の関係について学習する 第2回 波の性質2: 波を表わす量 波を特徴づける方法を学習する 第3回 電磁波: 電磁波の種類と性質 可視光を含む電磁波の種類とそれらの違いについて学習する 第4回 音波: 音波の定義と音の大きさ、音色 音とは何かについて学習する 第5回 ドップラー効果1:音源が移動する時の音 移動している音源の出す音と静止した観測者が関く音の違いについて学習する 第6回 ドップラー効果2:移動しながら聞く音 静止した音源の出す音と移動している観測者が関く音の違いについて学習する 第7回 定常波: 動かないように見える波 波の反射と重ね合わせの結果について学習する 第8回 長軸: 波がもたらす現象 策を効率的に伝える方法について学習する 第9回 反射と屈折: 光の反射と屈折 基本的な光の進路について学習する 第10回 分散: 光の分散現象と虹 光の進路が波長によって異なることを学習する 第11回 回折と干渉: 光の回折と干渉 波の進行の仕方と波の重ね合わせの効果について学習する 第12回 偏光: 光の個形とその応用 波としての光の振動をもとに偏光について学習する 第13回 鏡: 球面鏡による像 第15回 鏡: 球面鏡による像 第15回 鏡: 球面鏡による像 第15回 鏡: 球面鏡による像 第15回 鏡: 球面鏡による像 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回 第15回								
授業の到達目標	・波の性質を、基本的な物理量によって表現できるようになる ・波が関係する様々な現象を、波の持つ性質によって説明できるようになる ・波の持つ性質の利用例について理解する								
授業時間外の学修	・各回の講義終了時に次回までに予習するべき内容を示すので、教科書やWeb、参考書等により1時間程度以上予習すること ・予習内容をレポートにまとめ、次回の講義前に提出すること								
課題に対する フィードバック	予習レポートにでた定期試験につ解説を行う。			評価方法	व	習レポート る。	を40%、期	末試験を	60%として評価
テキスト	教科書は「物理学 I 」と「物理学 II 」で共通のものを使用する 「シップマン自然科学入門 新物理学」 James T.Shipma n 著 勝守 寛 監訳 学術図書出版社 ISBN: 978-4-87361-930-9								
参考書	以下の参考書は、カラー写真などが使われていて読みやすい ・「物理学入門」 原 康夫 著 学術図書出版社 ISBN: 978-4-7806-0500-6 ・「自然科学の基礎としての物理学」 原 康夫 著 学術図書出版社 ISBN: 978-4-7806-0200-5								
備考									